

道

2025・7・16

通信

No 1838



タチアオイ

本日 6時30分～ 岡野中学 清水先生 小坂先生

ざわめけバイカル この道 長い道を

次回 7月23日(水) 6時30分～ 岡野中学 小坂先生 二宮先生

シベリアの密林で ルースカエ・ポーレ

今日から清水先生スタート！そして。

東日本大震災 能登半島地震

復興チャリティコンサート

D o i t

伝えたい、未来へ紡ぐ音のかけ橋 2025

9月23日(火・祝) 会場 横浜市開港記念会館講堂

指揮清水先生・伴奏二宮先生

発表曲は本日清水先生より発表があるはずです。

練習回数が少ないので「気合」が必要かも。練習予定日 5回です。

・7/30(水) P二宮先生 ・8/6(水) ・8/20(水) ・9/3(水) ・9/17(水)

◆本日「参加の有無 アンケート」配布しますのでご提出ください。◆

【横浜市開港記念会館の歴史】

開港記念会館の記事をS古屋さんに提供して頂きました。裏面に印刷しましたのでご覧ください。

大正 12(1923)年の関東大震災によって、時計塔と壁体だけを残し、内部は焼失し、屋根ドーム群も欠落してしまいました。

昭和 2(1927)年に震災復旧工事が竣工しましたが、復旧に際しては、創建時と同じ設計スタッフが計画にあたり、構造補強をなすとともにスタンドグラスを含めて震災復興期のデザインで統一しています。なお、屋根ドーム群は復元されませんでした。

戦後は、昭和 20(1945)年から、昭和 33(1958)年まで米軍に接收され「メモリアルホール」と呼ばれ、進駐軍兵士向けの映画の上映館として利用されました。

昭和 34(1959)年6月に中区の公会堂として位置づけられ、名称が「横浜市開港記念会館」となりました。

昭和 60(1985)年に、創建時の設計図が発見され、横浜市に寄贈されたのを契機に昭和 63 年度にドームの復元工事に着手し、平成元年 6 月 16 日に、大正時代そのままの姿に復元されました。外観・内部とともに明治末期から大正時代にかけての建築様式を伝え、また、当時の建築水準を示す優れた建築物としてよみがえりました。